

全国・関東大会に出場 (敬称略)

〈卓球〉 関東中学校卓球大会 (山梨県 8 / 8～10)



安藤七海・石井知佳・林みどり
(一中2年)



小倉裕紀・宮内 悠・戸村 葵
榎澤 彩・高上千佳・加瀬育美
(二中3年)

〈陸上〉 全日本中学陸上競技選手権 (宮城県 8 / 20～23)、種目／走り高跳び



須貝 諒 (二中3年)

〈ソフトテニス〉 関東中学校ソフトテニス大会 (栃木県 8 / 6～8)



下妻史弥・林 哲矢 (二中3年)

旭方面隊第2分団第2部が千葉県消防操法大会で第5位

7月28日、千葉県消防学校で第43回千葉県消防操法大会が行われ、県内各地域を勝ち抜いた消防団の選抜チームが操法の演技を競い合いました。旭市からは海匠支部大会で優勝した、旭方面隊第2分団第2部が小型ポンプの部に出場。当日は立っているのもつらいほどの猛暑となりましたが、選手たちは3か月間に及ぶ練習の成果を十分に発揮し、素晴らしい演技を披露。第5位努力賞に輝きました。



▲緊張した演技も終わり、リラックスした様子の団員たち

スポーツ交流で農産物をPR!



▲口いっぱい野菜をほおばる子どもたち

昨年に引き続き2回目となる旭市親善少年野球大会が7月29日から旭スポーツの森公園野球場をメイン会場に行われ、県内外から27チームが参加して熱戦を繰り広げました。この交流会でのもうひとつ楽しみは大会の賞品やPRのために用意された新鮮な農産物。

開会式前にはつめたく冷やされた新鮮なトマトやキュウリなどが振る舞われ、子どもたちはまるごとガブリ! 野菜本来のおいしさを堪能していました。

海上マリンキッズ 95チームの頂点に立つ!

6月24日から県内外95チームが参加して行われてきた、城之内邦雄杯争奪少年野球夏季大会の決勝が、7月22日、香取市与田浦運動公園で行われ、旭市の海上マリンキッズが大栄クラブブルーキーズを7対6で破り、見事、優勝をおさめました。この大会で旭市のチームが優勝したのは合併後、はじめて。95チームの頂点に立ち、選手にとっても大きな自信となりました。



夢の実現に向け

中学生が職業体験

中学生がさまざまな職業を体験することで、働くことの大切さや喜び、大変さを理解し将来の進路や生き方の参考になるようにと行われる「職業体験」。8月6日から飯岡中学生が、翌7日からは第一中学生が2日間にわたり地域の事業所などを訪れました。「慣れない仕事で疲れるけど、興味があるし楽しい」と話してくれた中学生。残りの3つの中学校の生徒も、順次職業体験を行います。

▼保育所で幼児とふれあう飯岡中学生



▲子牛にえさをやる一中生徒

大原幽学記念館で

カマドでご飯と勾玉づくり

昔の人々の生活を体験してもらおうと7月29日、「カマドでご飯と勾玉づくり」が大原幽学記念館で開かれました。参加した小学校4～6年生の7人は、県指定文化財の「旧林家住宅」にあるカマドを使ってご飯を炊いて、手づくりのおにぎりを作った後、古代の装飾品である勾玉づくりに挑戦。子どもたちは熱心に砥石と紙やすりで形を整えて、思い思いの勾玉が完成しました。



▲カマドで炊いたご飯はおにぎりに

ゆめ半島千葉国体

旭市実行委員会が発足

平成22年にゆめ半島千葉国体（第65回国民体育大会）の開催が正式に決定したことから、第2回ゆめ半島千葉国体旭市準備委員会総会を開催し、今までの「準備委員会」を新しく「実行委員会」へ移行設立しました。今後、卓球会場となっている旭市では、国体開催へ向けて本格的に準備を進めていきます。



▲準備委員会総会で実行委員会の設立を決定

本物の議場で子どもたちが議員に

旭市子ども議会



市内の小中学生25人が議員となり、市への質問を行う「旭市子ども議会」が、7月24日に開かれました。市議会の議場を使って通常の議会と同じように行われた子ども議会では、学校のことや環境、交通安全など、議員となった子どもたちが日ごろから感じている疑問が質問され、市長や市の執行部からの回答を受けました。

市内チームが健闘

第11回あさひカップ



▲高学年の部



▲低学年の部

F C あさひ、飯岡 F C など12のサッカークラブが参加して、7月16日に「第11回あさひカップ」が旭スポーツの森公園芝生広場で開かれました。台風4号の影響で少し強めの風が吹く中、子どもたちは元気いっぱいプレーしました。なお、熱戦の結果は次のとおりです。

〔高学年の部〕優勝／土合 F C 準優勝／F C あさひ(A) 3位／飯岡 F C 〔低学年の部〕優勝／F S フェニックス 準優勝／F C あさひ(A) 3位／飯岡 F C (A)